

# 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けた下水道管の緊急点検について

下水道河川・水道・交通委員会  
令和7年2月13日  
下水道河川局

## 1 これまでの経緯



令和7年1月28日、埼玉県八潮市において、下水道管に起因すると思われる道路陥没事故が発生しました。これを受け、1月29日に国土交通省から下水道施設に対する緊急点検の実施について、事務連絡が発出されています。

事務連絡での点検対象は県などが管理する流域下水道ですが、事故の重大性に鑑み、本市では2月3日から自主的に緊急点検を実施しました。


## 2 下水道管の維持管理の現状

下水道管内部については、ノズルカメラ等による状態監視、また、下水道管が布設されている道路については、路面下空洞調査を実施しています。

### (1) 下水道管の状態監視

<p>小口径管 (内径 80cm 未満)</p> <p>延長 約 10,000km</p>	<p>①平成 30 年度から管清掃に併せて、ノズルカメラを使用したスクリーニング調査を行い、効率的に下水道管の状態監視を進めています。</p> <p>②布設後 30 年以上経過した下水道管を対象に、年間約 1,200km の調査を進めています。</p> <p>③令和 6 年度末には約 6,800km の調査が完了する予定です。</p>	 <p>写真1 スクリーニング調査に使用するノズルカメラ</p>
<p>中大口径管 (内径 80cm 以上)</p> <p>延長 約 1,900km</p>	<p>①平成 30 年度から布設後 30 年以上経過した管を対象に、専用のテレビカメラ等を活用して、計画的な詳細調査を行い、状態監視を進めています。</p> <p>②令和 3 年度からは、詳細調査・修繕・清掃などを一体的に実施する包括的民間委託を導入し、年間約 150km の調査を進めています。</p> <p>③令和 6 年度末には約 1,000km の調査が完了する予定です。</p>	 <p>写真2 テレビカメラ調査</p>

### (2) 下水道管が布設されている道路の路面下空洞調査

<p>①平成 27 年度から劣化等が確認された下水道管が布設されている道路について、電磁波地中レーダーによる空洞調査を行い、下水道管に起因する道路陥没を防止しています。</p> <p>②年間約 20km の調査を進めています。</p> <p>③道路局と連携し、緊急輸送路や幹線道路の空洞調査を実施しています。</p> <p>【参考】道路局と連携した路面下空洞調査(道路局 事業概要から抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4 年度 100km (幹線道路)</li> <li>令和 5 年度 約 130km (緊急輸送路及び幹線道路)</li> <li>令和 6 年度 約 130km (緊急輸送路及び幹線道路)</li> </ul>	 <p>写真3 路面下空洞調査のイメージ</p>
--	---

## 3 緊急点検の概要

### (1) 下水道管の点検

点検対象	水再生センターへ流入する内径 2m 以上の汚水幹線及び合流幹線 (合計 24 幹線)
点検方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>水再生センター直近のマンホールの中から、下水道管内部を目視点検</li> <li>下水道管が布設されている道路表面の目視点検</li> </ul>
点検者	横浜市下水道管理協同組合 (市内企業 19 社)
実施期間	令和 7 年 2 月 3 日から 2 月 5 日



換気設備 転落事故防止柵

### (2) 路面下空洞調査

点検対象	(1)の点検対象の下水道管が布設されている道路 (道路延長: 約 20km、空洞探査車走行延長: 約 30km)
点検方法	路面下空洞探査車による電磁波地中レーダー方式
点検者	緊急口頭契約による専門業者
実施期間	令和 7 年 2 月 3 日及び 2 月 4 日 (現地調査)



写真4 空洞探査車による点検

## 4 緊急点検の結果

### (1) 下水道管の点検結果

大規模な陥没につながるような下水道管の異常はありませんでした。



### (2) 路面下空洞調査結果

緊急対応が必要な空洞が、港北区新吉田町及び神奈川区入江二丁目の2か所で見つかったため、土木事務所に空洞の埋戻しを行い、対応は完了しています。

なお、空洞の原因は、点検した下水道管に起因するものではありません。

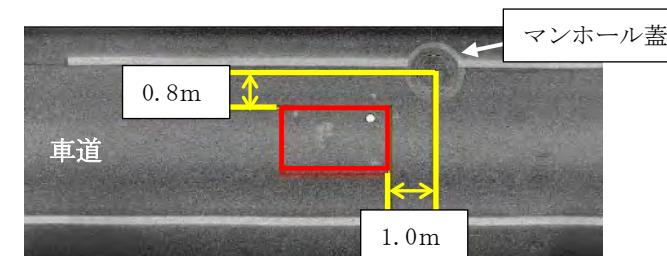


図2 異常箇所の広がり路面映像に明示した解析結果

## 5 今後の対応

- 今後も、下水道管内部の定期的な点検・調査を行い、状態監視保全を継続していきます。
- 路面下空洞調査については、道路局とも連携し、対象範囲を拡大していきます。